

焼森山・鶏足山・赤沢富士

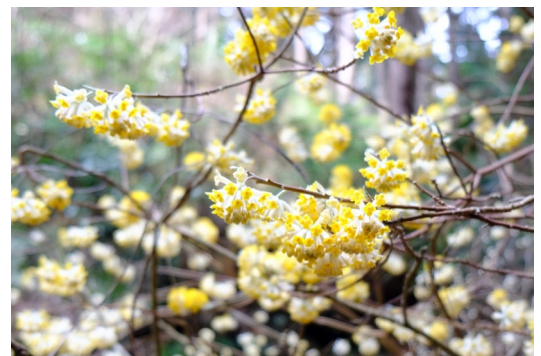
やけもりやま423m けいそくさん431m あかざわふじ340m

今回から夏シーズンの6時出発となり、バスは東北道から北関東自動車道へと進む。参加者は20名で満員御礼。空は雲が多く霞んでいるが、休憩した壬生PA付近からは、裏筑波、加波山、日光連山、高原山などが影絵のように浮かんで見えた。今日のコースは昨年計画されたが、生憎の雨模様だったため、山は断念しミツマタを見るだけに終わった。リベンジとなる今回はコースを変えて茨城県側からアクセス◆笠間西ICで高速をおり、笠間市総合公園付近から下赤沢部落を目指す。途中から道路近くに採石場が続き、狭い道で大型ダンプと何度かすれ違ふ。この周辺は「稲田みかげ石」の採石場の一角で、「石切山脈」という日本最大級の採石場があり、碎石現場は隠れた観光スポットだという◆バスは鶏足山登山口（赤沢下山口）に到着。トイレ完備の広い駐車場には他の登山客もチラホラみられた。歩き始めると車が通れる程の道がしばらく続き、やがて急な山道に変わる。息を弾ませ一汗かくと「弛み峠」に出た。峠の名前と自分の肌を気にしつつ小休憩。焼森山山頂はそこから10分程◆山頂で集合写真を撮った後は急な道を下りミツマタ群生地へ。保全協力金500円（昨年300円）を払って一周634mの群生地周遊となったが、肝心の花は五分咲きといったところか。しかし平日ながらも見学者で賑わい、TV取材もされていた。ミツマタ見学の後は弛み峠まで再び登り、二等三角点のある鶏足山山頂で昼食◆食後はコースから300m程外れた見晴台まで足をのぼし展望を楽しむ。見晴台には弘法大師がこの山を「鶏足山」と名付けた由来が紹介されていた。その後は赤沢富士を経由し、崖のような急峻な山道を下ってバスの待つ駐車場へと戻る◆昨年と一日違いでのミツマタ再訪問だったが、昨今の冷え込みのためか、ミツマタの開花は遅れているようだった。それでも山の木々はつぼみを膨らませ、気の早いタンポポが花をつけるなど、春の訪れが感じられる楽しい一日であった。（南雲記）



焼森山・鶏足山・赤沢富士

ミツマタ群生地にて



北市民セ6:00 → 鶴ヶ島JCT6:30 → 壬生PA7:30 → 笠間西IC8:10 → 鶏足山駐車場8:40着9:00発 → 弛み峠9:40 → 焼森山9:50 → ミツマタ群生地10:20着11:00発 → 鶏足山11:30着（昼食、展望台往復）12:30発 → 赤沢富士鶏足山駐車場13:10着13:30発 → 道の駅かさま13:50着14:20発 → 友部IC14:40 → 菖蒲PA16:50 → 鶴ヶ島IC16:20 → 北市民セ16:40 @4000（ミツマタ見学@500込）